

第 58 歩

今年巳年です。

蛇ほど好き嫌いが極端に分かれる動物も珍しいのではないのでしょうか。蛇を見ただけでも怖くて奇声を上げて逃げる人がいるかと思えば、ペットとして飼っている大蛇を首に巻きつけて喜んでいる人もテレビなどで見かけます。私ははっきりと、蛇は苦手なタイプに属します。蛇を見ると、一目散に逃げだしたくなります。

今年の干支は、「乙巳（きのとみ）」です。十二支の動物に当てはめると蛇。そこで、蛇にまつわる言い伝えや諺（ことわざ）を紹介しながら新年、令和7年が希望の年となるように願いたいと思います。

①蛇と金運

苦手な人の多い蛇ですが、巳年（みどし）生まれは「お金に困らない」と言われ、金運に恵まれる年だとも言われています。極端な円安や、不安定な国際情勢もあり、諸物価の高騰が続いていますが、言い伝え通り、国全体が金運上昇で経済が良くなってくれることを祈ります。

②龍頭蛇尾（りゅうとうだび）

竜のように頭は立派なのに、蛇のような細く貧弱な尾であるということから、初めの勢いは良いが終わりは振るわないことの例えとして使われています。今年は初心忘れずで、できれば「龍頭竜尾」といきたいものです。

③長蛇を逸す

大きなチャンスをあと一步のところ取り逃がすという意味です。今年は、「大阪・関西万博」と「瀬戸内国祭芸術祭」が開催されます。高松が大いににぎわうであろうこの機会に、長蛇を逸すことのない一年としたいものです。

④蛇に噛まれて朽縄（くちなわ）に怖（お）じる

「糞（あつもの）に懲りて膾（なます）を吹く」と同義の諺で、一度の失敗を過大に気にしすぎて、縄を見ても蛇と同じように怖がることを言います。失敗に反省は必要ですが、必要以上に萎縮すると、物事が悪い方向に後退しかねません。心したいものです。

⑤蛇足（だそく）

余計な付け足し、無用なものの意味です。昔、中国で蛇の絵を描く競争をした時に最初に書き上げた者が、つい足まで書いてしまって負けたという故事から来ています。

そこで蛇足ながら最後に私の好きな一行詩を添えておきます。

「蛇 ながすぎる」（フランスの詩人ルナールの「博物誌」より抜粋）

